

第44回戦跡ハイキング・大江山ニッケル工場跡

9月15日(土)～16日(日)、総勢5名(幼児1名含む)で京都府与謝町・伊根町に行ってきました。日程は下記の通り、概ね天候に恵まれ楽しい戦跡ハイキングの旅となりました。本号では参加者の感想を掲載させていただきました。楽しかった二日間の京都府の旅が思い出されます。

《日程》9月15日(土) 大阪ー(マイカー)ー大江山ニッケル工場跡ー伊根町船屋群ー加悦双峰公園(バンガロー泊) 9月16日(日) 加悦双峰公園ー京都府伊根町新井、棚田で稲刈りー帰阪

戦跡ハイキングと棚田稲刈り体験 野口 達子(泉州労山)

戦跡ハイキングと棚田稲刈り体験に6才の孫と共にお誘い頂き参加しました。

太平洋戦争の軍需物資とされたニッケル。その生産地大江山鉱山を見学。今は大きな煙突が3本、その名残をとどめています。当時は捕虜の方達の過酷な労働があったそうです。今は緑豊かな公園になり、沢カニやバッタを追いかける孫の姿に、平和の有難さを感じました。

翌日の稲刈りは宮津の海を見下ろす新井の棚田です。天気は曇りから晴れ。初めての体験に刈り方や手順の説明を聞いて、カマを片手にいざ田んぼへ。前日が雨だった為？ぬかるみに足が沈み長靴が抜けず倒れそうになりオットット～。服もズボンも泥だらけで大奮闘！カマの切れ味が心地よく気分は爽快。刈った稲は竿に干し、脱穀し、やがて白米になるお話を聞きながら軽トラの荷台に乗ってご山を下りご機嫌の孫。お手伝いか？皆さんの邪魔をしているのか？

それでも豊かな自然への出合と貴重な体験をさせてもらい、大自然の中で汗を流し、出会ったお友達とバッタ取りに無我夢中で自然のふとこで存分に楽しみ大満足！10月頃には刈り取った新米を送って頂けるのを東京で楽しみに待っています。

ご一緒して頂いた皆さんの暖かい見守りのお蔭です。本当にありがとう御座いました。



大江山ニッケル工場跡



加悦双峰公園バンガロー(宿泊)

戦跡ハイキングに参加して

石野 明子（きたろうHC）

前回（昨年）、伊根町新井の千枚田での田植えと今回の稲刈りを体験をして、日本の主食である米作りを守らなければと強く思いました。大江山ニッケル鉱山跡を訪ねた際、中国人・朝鮮人が強制連行され働かされたことを知り、丹後地方での戦後の一端を知りました。今回も伊根町の自然を満喫し有意義な二日間の旅でした。

はじめていねかりをしました

おおさといっさ（大里一然、6さい）

おやまでカニをみつけてみがしました。こんどはあまがえるとバッタをみつけて、つぎのひ、12ひきみつけてうれしかたです（大江山中腹のキャンプ場）。いねかりをしました。たんぼのどろにはまってあしがとれにくかったです。たんぼのまへのほうのところをやっつてうまくいったのしかったです。（伊根町）

第45回戦跡ハイキング・大阪市大正区

戦争と沖縄に思いを寄せる小さな旅、大正区で渡し船に乗って、沖縄料理を楽しもう

大阪市大正区には今も8か所で市営の渡し船（無料）が運行され、市民の貴重な足となっています。そのうち7か所は大正区にあります。

大正区はまた、近代の歴史の中で多数の沖縄県民が出稼ぎなどで移住したところです。沖縄の人びとは職業や住居で差別され、苦難な生活を強いられました。そのうえ、アジア・太平洋戦争末期の連合軍の空襲で大正区は大きな被害を受けました。

そこで、今回、渡し船に乗って、川とともにある暮らしを体験しながら、沖縄のこと、戦争のことに思いを寄せる小さな旅を企画しました。昼は沖縄そばなどをいただいて交流をしましょう。10月20日現在、参加申し込み者は9名です。

日 程：2018年11月10日（土）

集 合：JR環状線・大正駅 午前9時40分

コース：JR大正駅ーバス停「大正橋」ー「新千歳」ー千歳渡船場ー鶴町4丁目ーバスで千本松橋西詰ー千本松渡船場ー「うるま御殿」（昼食）ー沖縄物産展ー落合下渡船場ーバス停「小林」 歩行距離：約4km ガイド：森田敏彦氏

参加費：500円（資料代、ガイド料）、バス代（630円）・昼食代は各自負担。

申込み：10月30日（水）まで、大阪府勤労者山岳連盟・大西清見（080-1460-3884）